

2007年10月6日(土)  
小林直生さん講演 17:00 ~ 19:00  
「現代に生かす祈りの力」

小林直生さん壮行会 19:45 ~ 20:30  
軽食と歓談の集い

\*自由なテーマで語らしましょう。質疑応答もOKです。

あふれるユーモア、豊富なイメージ、深い洞察で、多くの参加者を魅了してきたキリスト者共同体司祭・小林直生さん。今回は2年間のドイツ赴任が決まった直生さんの連続講座の最終回として「祈り」をテーマに取り上げました。生活のなかに溶け込んだ祈りという行為は、いまや偽善や欺瞞にまみれ、あちこちで薄汚れた姿をさらしています。祈りの本質とは何か、いかに祈るか、祈りのもつ力とは何か。教育のなかで、福祉のなかで、医療のなかで、生活のなかで、どのように祈りを生きたものにしていくのか。さらに、キリストが人々に与えた「主の祈り」のミステリーにも迫る「祈りのルネッサンス」講座を、ぜひともにしてください!



# 小林直生さん連続講座Ⅶ ファイナル 現代に生かす祈りの力 ルドルフ・シュタイナーが手を合わせるとき

ルドルフ・シュタイナーは晩年の病床にあっても、毎日昼の12時になると外から聞こえるくらいの大声で「主の祈り」をラテン語で祈っていたと伝えられています。多くの瞑想行のほかに、教育のみならずいろいろな分野で「祈ること」を彼は大切に考えていました。たぐさんの誤解や偏見にさらされたこの「祈り」を、人智学を頼りにふたたび大切なものとして再認識してみませんか? まだ日本ではあまり知られていない、しかし非常に大切な祈りの言葉もいくつか紹介できると思います。

(小林直生)

小林直生さん：キリスト者共同体司祭。1954年札幌生。1978年渡独、キリスト者共同体大学全過程終了後、1985～1999年ドイツで司祭として活動、同時にシュタイナー学校での宗教教育にあたる。1999年帰国。2000年6月に3人の司祭とともに日本のキリスト者共同体を創設。著書に『宝石と四季のお祭り』『死ぬことと生きること』(いずれも涼風書林刊)ほか多数。



会場：オープンフォーラム早稲田  
参加費：3,000円/資料代別(数百円を予定)  
壮行会軽食代500円(参加は任意です)  
申込先：フォーラム・スリー  
tel.03-5287-4770 / fax.03-5287-4771

